



【支援企業紹介】②

## RF test Lab 株式会社

### 事業内容で製品で、 目指すは世界オンリーワン

「岩手県よろず支援拠点」開設記念セミナー開催しました ④

平成26年度「農商工連携・地域資源活用に係る事業化セミナー」及び  
FCP岩手 brunch「いわて食産業ビジネス大交流会」開催しました ④

HiNT 新価値創造展2014 ⑤

試験販売事業 ⑤

新職員紹介 ⑤

岩手県知財総合支援窓口  
からのお知らせ ⑥

震災復興総合支援事業 ⑧

### RF test Labの これがポイント!

製鉄所で使用される合成開口レーダに搭載されるアンプ(増幅器)。高炉内の鉄の量を計測する電波は、現在実用化されている周波数としては最高の79GHz。国内初の3次元測定のための複数台の製造が進んでいる。



## 事業カレンダー

いわて産業振興センターに関連する事業紹介です

## 10月 [OCTOBER]

- 8日・9日 ものづくりアカデミー・中堅管理者・後継者養成講座(2)
- 23日・24日 ものづくりアカデミー・ISO9001内部監査員養成講座
- 29日・30日 メディカルクリエーションふくしま2014

## 11月 [NOVEMBER]

- 12日・13日 ものづくりアカデミー・中堅管理者・後継者養成講座(3)
- 13日 いわて商談会
- 12日~14日 HOSPEX Japan
- 19日~21日 ET2014
- 21日 北東北ものづくり企業医療機器開発・技術展示会

## 12月 [DECEMBER]

- 3日~5日 セミコンジャパン2014
- 4日・5日 ものづくりアカデミー・経営者・管理者のための原価低減セミナー

# 技アリ!

いわての仕事録



①6台の各種ワイヤ・ボンディング・マシンを所有、マニュアル操作で周波数110GHz以上のミリ波帯機器の製造を手掛ける技術力。  
 ②回路は3種のボンディング・マシンを駆使し製作。  
 ③高周波の電子回路は樹脂の代わりにアルミナなどの素材に金の薄膜を付けた基板が使われている。  
 ④製品は高周波特性測定を経て完成となる。最新の測定器は当センターが認定支援機関となり、ものづくり補助金を利用して購入した。  
 ⑤自社で切削加工したフィルタ。共振の原理で電波信号の選択を可能とし、携帯電話をはじめあらゆる工業製品の求める周波数や帯域に合わせて作られるため、形状は実に様々。  
 ⑥社内で試用されるミリ波レーダから偶然、壁内透視が可能なることを発見した。  
 ⑦(独)電子航法研究所の依頼で製作したミリ波レーダ。  
 ⑧敷地内にある機械加工部門。多くの依頼が舞い込む。

## 事業内容で製品で、目指すは世界オンリーワン

代表取締役社長  
森沢 茂紀



### 【支援企業紹介】盛岡市 アールエフテストラボ株式会社

#### 日本とは逆を行くアメリカのものづくりにチャンスを見出す

「ラジオへの興味に始まり、高校時代からずっと電気回路のことばかり考えていました」。そんな情熱と強い意志が、多くの困難を越えて新たな道を拓いた。盛岡市にあるRFtestLab(アールエフテストラボ)株式会社は、森沢茂紀社長が20年以上培ってきた技術とアイデアをもとに設立した、オンリーワン企業である。

同社の事業は「ミリ波」や「マイクロ波」と呼ばれる高周波回路の設計製造。アメリカでは宇宙航空や軍需産業とともに発展してきた産業分野で、日本でも近年は携帯電話や車載レー

ダーアシスト等の無線アプリケーションで需要が増加している。だがサプライヤーとしての企業は一部の大手メーカーを除き、国内にはほとんどない。森沢社長は起業前に先進地・アメリカの工場などを視察、その現場に衝撃を受けた。

「工場はビルの一室などで従業員は数人。そこでベア・チップ半導体にマニュアル操作のワイヤ・ボンディング・マシンで、マイクロ波コンポーネントを手作りしていたんです」。

同じ工業製品でも大量生産・分業化に進む日本と対極の「単品製作」「手作業」に可能性を見出した森沢社長は、高周波用の半導体には欠かせないワイヤ・ボンディングのマシン操作

盛岡市に拠点を置きつつ、宇宙航空産業で使われるような高周波電子回路の設計と製造を手がけているRFtestLab。「まさにニッチ分野」と自社を評する森沢茂紀社長の考える戦略、最終目標は何か。

【いわて産業振興センター活用事例】  
マイクロウェーブ展への出展助成事業や、ビジネスマッチングに参加、業界トップ企業や研究機関との提携を実現。今後は産学官、企業間連携を強化するのが目標

を習得、投資を抑えるため中古機器を少しずつ買い揃え、時に修理も行った。こうして得た知識も、そのまま起業後の強みとなった。

#### 単製品をオンデマンドで製作。 工業界のニッチで業績を伸ばす

そんな同社をオンリーワンと評する理由は、アメリカの手法を採用しつつも「日本らしさ」、つまりNC工作機械による製造部門を有する点だ。電波フィルタや導波管などの機構部品をコンピュータによるシミュレーションに頼る割合を下げて直接製造、納期・コストの短縮に繋げている。このように設計から製造までの一貫体制を敷く企業は、

海外でもほぼ例がない。

ともすれば「精度」競争に陥りがちの日本製造業を、森沢社長は「消耗戦になっている」と危惧、「加工精度に頼らず、電気的性能をあげることが重要」という。形状や大きさが性能を決定するフィルタ類などは、組立工程や製造後の調整により性能が劇的に向上する。これは人の手でしか実現し得ない部分であり、実は電気関連メーカーや研究機関が一番欲しがると技術力なのだ。

創業から9年ながら、すでに医療機器MRIの高周波電源はじめ人工衛星搭載用フィルタなど、同社の開発実績は多岐に渡る。近年は(独)電子航法研究所の依頼を受けミリ波レーダを

製作、無人ロボットへの搭載を目指し実証実験が進められている。しかもレーダ開発中に建築構造物の壁内透視が可能なることも発見、「たとえば中古住宅など老朽化したインフラへの展開や、火災や災害等視界がきかない現場でのモニタ管理にも役立つ可能性がある」と森沢社長はいう。こちらもハードウェアはほぼ完成、商品化も見えてきた。

高周波、なかでもミリ波を使う工業製品はそれほど多くはないが、「ロケットや航空機のように付加価値の高いものほど単品、しかもオンデマンドが求められる」と森沢社長。目指すのは産業ピラミッドの頂点、オンリーワンのものづくりだ。

#### 全工程を自社で行う。ものづくりの原点です

子どもの頃に叔父の工場を見た、一貫生産のものづくりが原点。どんなに加工精度を上げてバラツキが伴う半導体では最後の手作業が必須で、高度な製品ほどこの「調整力」が求められる。自ら設計・製造、組立ができるのは最大の強みですね。

#### 技アリ!ポイント

#### 企業データ

会社名 アールエフテストラボ株式会社  
 本社 盛岡市みたけ4-2-2  
 E-mail Labs@RFtestLab.com  
 代表者 森沢 茂紀

創業 平成17年(2005)11月  
 従業員 3名  
 業種 高周波回路の設計・試作・製造  
 URL <http://www.RFtestLab.com>

# 「岩手県よろず支援拠点」 開設記念セミナー開催しました

当いわて産業振興センターでは、経済産業省より委託を受け「岩手県よろず支援拠点」を平成26年6月30日開設し、県内企業様からのよろずの経営相談を受け付けております。

この「岩手県よろず支援拠点」開設を記念し、8月1日に記念セミナーを、盛岡市・ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィングにて開催しました。

基調講演では本よろず支援拠点のモデルとなっております「板橋区立企業活性化センター」センター長・中嶋修氏を講師にお招きし、「板橋モデルの岩手県への展開」と題して講演いただきました。

それに先立ち、東北経済産業局局長・守本憲弘氏に、「『よろず

支援拠点』が地域を変える!』と題して紹介いただいたほか、岩手県よろず支援拠点コーディネーター・伊藤朗から、岩手県よろず支援拠点の取組について説明しました。

当日は約100名の来場があり、関心の高さがうかがえました。プログラム終了後、コーディネーターに熱心に相談される姿も見られました。

岩手県よろず支援拠点はコーディネーター・サブコーディネーター5名で構成し、売上拡大、経営改善など経営上のあらゆるお悩みの相談に対応します。土日祝日等をのぞく毎日、お客様からの相談を受けつけていますので、どうぞお気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】 岩手県よろず支援拠点 TEL 019-631-3826 yorozu@joho-iwate.or.jp

岩手 よろず 検索



# 平成26年度「農商工連携・地域資源活用に係る事業化セミナー」及び FCP岩手ランチ「いわて食産業ビジネス大交流会」開催しました



7月16日、盛岡市・ホテルルイズにおいて、「農商工連携・地域資源活用に係る事業化セミナー」を開催しました。また、FCP (Food Communication Project・農林水産省主催) の一環として「いわて食産業ビジネス大交流会」もあわせて行いました。

セミナーでは、食産業のプロデュースを行っている、株式会社キースタッフ(東京都)代表取締役・鳥巢研二氏が「地域資源を活用した商品開発、販路開拓」と題し基調講演を行いました。実際の事例を交えながら、2時間にわたる長丁場となりましたが、熱っぽい講演に、来場した方々は真剣に耳を傾けていました。

事例紹介として、公益財団法人えひめ産業振興財団・農商工連携ビジネスプロデューサーの岡田浩氏が登壇し、岩手県から約1,200km離れた愛媛県の事例をお話いただきました。

セミナー終了後、会場をホテル内のレストランに移し、ビジネスマッチングのための交流会を開催。県内の農商工連携で開発した商品や食産業関連企業の製品を実際に試食できる場を設けました。会場内では名刺交換・歓談する姿が多く見られました。今後の商談等につながれば幸いです。

センターでは今後もこのような催しを行う予定ですので、ふるってご参加下さい。(次回は12月18日開催予定)



# HiNT 新価値創造展2014

2014年11月19日(水)～21日(金) 10:00～18:00(最終日は17時まで)

東京都・東京ビッグサイト 東2・3ホール

2014年、中小企業総合展 東京が「新価値創造展」としてさらに進化します。

新価値創造展では、3つの開催テーマを掲げ、共に新しい価値を創造してゆくパートナーとの「出会いの場」を提供します。「新価値創造展」。次のビジネスチャンスは、ここにあります。

テーマ

- ウェルネス社会を創る[医療・医薬・スポーツ・住宅・ICTなど]
- グリーンコミュニティを創る[環境・都市開発・住宅・交通・サービスなど]
- スマートファクトリーを創る[生産機械・ロボット・ICT・流通など]

中小機構では、新市場・新産業の創出へ向けたグローバルニッチな技術の異分野融合や、大企業を含むオープンイノベーションによる新商品開発などを「新価値創造」として重視し、この動きを中小企業を中心に力強く推進すべく、これまでの「中小企業総合展 東京」が「新価値創造展」としてさらに進化します。

出展者・来場者を問わず、共創の意思やビジョンを持った参加者と共に新価値創造展を創り上げていきます。

同時開催 第17回産業交流展2014(東5・6ホール) <http://shinkachi.smrj.go.jp/> 新価値創造展 検索

お問い合わせ先

新価値創造展 事務局 〒107-6322 東京都港区赤坂5-3-1赤坂Bizタワー【受付時間:10:00-18:00(土・日・祝除く)】  
TEL:03-6441-4901 FAX:03-6441-4900 E-mail:st2014@wm.smrj.go.jp

貴社の新商品を盛岡地区で試験販売し、手応えを確かめてみませんか?

# 試験販売事業 出展者募集のお知らせ

消費者ニーズや商品評価の  
把握にご活用ください!



【主催】(公財)いわて産業振興センター

期間 平成26年5月～平成27年2月末  
場所 イオンモール盛岡南「いわて活菜横丁・結いの市」内  
試験販売スペース(エスカレーター側入り口)

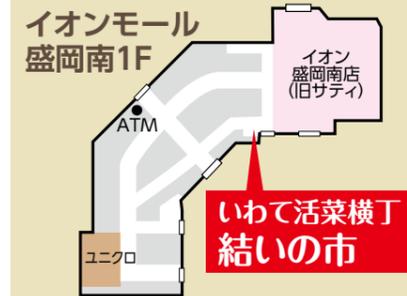
詳しくはホームページをご覧ください <http://www.joho-iwate.or.jp/tm/>

お問い合わせ

●空き日程の確認、申込：(一社)遠野ふるさと公社(結いの市管理者) ☎019-631-3137

●制度についての確認：(公財)いわて産業振興センター産業支援グループ ☎019-631-3823

※この事業は「いわて希望ファンド」の助成を受けて実施しています



## 新職員紹介

センターに8月から  
新たに勤務する  
職員をご紹介します。



ものづくり振興グループ  
副主幹  
田澤 潤

次世代モビリティプロジェクトを担当します。岩手の自動車開発拠点化を実現し、震災復興と発展に寄与することを目標に、産学官連携一体となりPJを推進しています。本PJを通じ、ご期待にお応えできる支援を行ってまいります。よろしくお願ひします。



総務・金融グループ  
金融専門員  
渡辺 慎二 (嘱託員)

総務・金融グループの高度化賃付の金融専門員として7/22からお世話になっております。前職は、釜石市の雇用促進事業の仕事に従事していました。これからは、特に沿岸被災企業のために、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

# 知財を取得・活用し、 経営課題の解決や経営の革新を 実現しませんか!

\*知財とは:特許権、商標権、意匠権、著作権、ノウハウ・営業秘密などの知的財産

◆岩手県知財総合支援窓口は、国から特許等取得活用支援事業の委託を受けて一般社団法人岩手県発明協会、地方独立行政法人岩手県工業技術センター、公益財団法人いわて産業振興センターがコンソーシアムを構築して共同で設置・運営を行っています。

岩手県工業  
技術センター

岩手県発明協会

いわて産業振興  
センター

## 岩手県知財総合支援窓口

地方独立行政法人岩手県工業技術センター 2階  
一般社団法人岩手県発明協会内  
(盛岡市北飯岡2丁目4番25号)

**まずはお電話を!**

岩手県発明協会  
019-634-0684  
又は  
全国共通ナビダイヤル  
0570-082100

◆特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権などの知的財産権の取得から企業経営への活用、ライセンス、侵害への対策・対応など知的財産に関するあらゆるご相談・お悩みに対応いたします。

すべて無料

- 特許・商標などの出願手続き支援
- 特許電子出願の検索支援
- 類似技術や商標の調査支援
- 知財の海外展開支援
- 模倣品・侵害対応支援
- 事業化プランの策定支援
- ライセンス契約・技術移転支援・  
ノウハウ・営業秘密の管理など

専従の知財総合支援  
アドバイザーと委嘱し  
た弁理士、弁護士等知  
財専門家が相談支援  
を行います。

出張相談支援も  
行います!

詳しくは岩手県知財総合支援窓口のホームページをご覧ください。  
<http://www.iwate-hatsumei.org>

## ■知財専門家窓口駐在日(会場:岩手県発明協会内相談室)

～弁理士、弁護士がご相談に応じます。勿論、無料です～

駐在専門家	白形由美子 弁理士	丸岡裕作 弁理士	熊谷繁 弁理士	菅原修 弁理士	遠藤大介 弁護士	川上博基 弁護士
9月	—	4日(木)	11日(木)	18日(木)	—	25日(木)
10月	1日(水)	9日(木)	16日(木)	23日(木)	30日(木)	—
11月	5日(水)	13日(木)	20日(木)	—	—	27日(木)
12月	10日(水)	18日(木)	—	4日(木)	25日(木)	—
27年1月	21日(水)	—	8日(木)	15日(木)	—	29日(木)
2月	—	5日(木)	12日(木)	19日(木)	26日(木)	—
3月	4日(水)	12日(木)	19日(木)	—	—	26日(木)

※1.知財専門家の駐在時間(ご相談時間をお受けする時間)は、いずれも13時から16時までです。  
2.事前の予約が必要となります。予約は、原則、駐在予定日の前週の金曜日までをお願いします。  
3.相談時間は、1人当たり45分程度となります。

## ■弁理士による知的財産権無料相談会及び 知財総合支援アドバイザーによる出張窓口相談会

一般社団法人岩手県発明協会では、岩手県の「戦略的知財活用支援事業」を受託し、その一環として、日本弁理士会東北支部との共催で知的財産権無料相談会(各会場とも13:00～16:00)を開催いたします。  
また、同日、同会場で知財総合支援アドバイザーによる出張窓口相談会(10:00～12:00)を併せて開催します。

開催日	会場	開催日	会場
9/17(水)	(公財)釜石・大槌地域産業育成センター	10/15(水)	北上商工会議所
11/19(水)	大船渡商工会議所	12/17(水)	二戸地区合同庁舎
1/21(水)	花巻商工会議所		

※1.事前の予約が必要です。定員になり次第締め切りますので、あらかじめ予約状況をご確認の上、ご来所願います。また、相談内容によってはお待ちさせることもありますので、ご了承下さい。  
2.相談時間は一人約40分となっております。

知財専門家駐在日、知的財産権無料相談会等のお申込み・お問合せは  
一般社団法人 岩手県発明協会(担当:事務スタッフ 佐々木由紀)をお願いします。  
TEL019-634-0684 FAX019-631-1010 E-mail: associ3@iwate-hatsumei.org

## 震災復興総合支援事業

# 震災からの復興をお手伝いします。 まず、ご相談ください!

センター(公益財団法人いわて産業振興センター)では、東日本大震災で被災された事業者の皆様の復興に向けた事業の再開をお手伝いするため、**無料で経営相談、各種専門家を派遣**等することによるアドバイスを行っております。

まずは、ご相談ください。

相談・支援  
の費用は  
**無料**

## 相談・支援事例

- 事業再建計画を策定したい。
  - 資金調達を検討したい。
  - 組織活性化し、目標の管理をしたい。
  - 販路の開拓を行いたい。
  - 事業の承継を考えたい。
  - 人材の育成をしたい。
  - 転業・新事業展開を検討したい。
  - 就業規程を見直したい。
  - 生産の管理を行いたい。
- 等々



## 派遣する専門家

センターには、企業支援に経験豊富な中小企業診断士、税理士、司法書士、社会保険労務士等のほか経営実務に実績のある大企業・中堅企業の人材が**約200名登録**頂いております。  
**貴社のニーズに適した専門家を4回まで無料で派遣**してアドバイスを行います。



まずは下記にご相談ください。当センターの窓口経営相談員がお応えします。

お問い合わせ  
お申し込みは

(公財)いわて産業振興センター 産業支援グループ 総合支援チーム  
〒020-0857 盛岡市北飯岡2-4-26  
TEL019-631-3823 Fax019-631-3830 E-mail joho@joho-iwate.or.jp  
※申込書はいわて産業振興センターのホームページでダウンロードできます